

令和3年度第5回岩手県公共事業評価専門委員会

(開催日時) 令和4年2月9日(水) 11:00～11:30

(開催場所) 岩手県水産会館 5階 小会議室

1 開 会

2 議 事

- (1) 専門委員長及び副専門委員長の選任について
- (2) 令和4年度公共事業評価専門委員会の開催予定について
- (3) 公共事業評価実施要領及び評価基準の一部改正について
- (4) その他

3 閉 会

出席委員

小笠原敏記専門委員長、武藤由子副専門委員長、石川奈緒委員、伊藤幸男委員、
清水真弘委員、谷本真佑委員

欠席委員

なし

1 開 会

○池田政策企画課特命課長 それでは、御案内の時間になりましたので、ただいまから令和3年度第5回岩手県公共事業評価専門委員会を開催いたします。

私は、政策企画部政策企画課の池田でございます。本日は、司会を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

さて、本日の専門委員会でございますが、ウェブ会議システムによる開催とさせていただいており、委員総数6名中6名に御出席いただいていることから、政策等の評価に関する条例第15条第4項で準用する第13条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているため、会議が成立することを御報告いたします。

それでは、議事に入ります前に資料の確認をさせていただきます。

本日の資料は、事前にデータで送付させていただいておりますが、次第、名簿、資料ナンバー1、2及び参考資料となっておりますので、御確認願います。もし、資料の不足等ございましたら、お知らせください。よろしいでしょうか。

2 議 事

(1) 専門委員長及び副専門委員長の選任について

○池田政策企画課特命課長 それでは、次に議事に入らせていただきます。

政策等の評価に関する条例第15条第4項で準用する第12条第2項の規定により、会議の議長は専門委員長が務めることとされておりますが、本日が委員改選後最初の専門委員会でございますので、専門委員長が決まりますまでの間、暫時私が議長役を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

まずは、本日初めて御出席される委員もいらっしゃいますので、委員の御紹介をさせていただきます。五十音順にお名前を読み上げますので、恐縮ですが、御紹介の後一言御挨拶をいただければと思います。

石川奈緒委員でございます。

○**石川奈緒委員** 石川です。土木環境を専門としています。よろしくお願いいたします。

○**池田政策企画課特命課長** 伊藤幸男委員でございます。

○**伊藤幸男委員** はじめまして伊藤と申します。林政学を専門としています。どうぞよろしくお願いいたします。

○**池田政策企画課特命課長** 小笠原敏記委員でございます。

○**小笠原敏記委員** 小笠原です。海岸工学を専門にしています。よろしくお願いいたします。

○**池田政策企画課特命課長** 清水真弘委員でございます。

○**清水真弘委員** 清水です。北上市の事務所で会計士をしています。よろしくお願いいたします。

○**池田政策企画課特命課長** 谷本真佑委員でございます。

○**谷本真佑委員** 谷本です。交通工学を専門にしています。皆様よろしくお願いいたします。

○**池田政策企画課特命課長** 武藤由子委員でございます。

○**武藤由子委員** 武藤です。専門は農業土木です。よろしくお願いいたします。

○**池田政策企画課特命課長** それでは、議事の（１）、専門委員長、副専門委員長の選任についてに入らせていただきます。

専門委員長及び副専門委員長の選任は、条例第 15 条第 4 項で準用する第 12 条第 1 項の規定により、専門委員会に属する委員の互選によることとされております。互選の方法がありますが、いかなる方法で互選するかお諮りいたします。

御意見がなければ、事務局からの指名推選の方法によることとしてよろしいかお諮りいたします。

「異議なし」の声

○池田政策企画課特命課長 それでは、事務局から推薦をお願いします。

○佐々木政策企画課主事 事務局の政策企画部政策企画課の佐々木です。

事務局といたしましては、専門委員長には小笠原敏記委員、副専門委員長には武藤由子委員が適任と思われますので、推薦いたします。

○池田政策企画課特命課長 ただいま事務局から、専門委員長には小笠原敏記委員、副専門委員長には武藤由子委員の推薦がありましたが、御異議ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

「異議なし」の声

○池田政策企画課特命課長 それでは、そのように決定させていただきたいと存じます。

小笠原専門委員長、武藤副専門委員長、よろしく願いいたします。

それでは、小笠原専門委員長には、改めて一言御挨拶をお願いいたします。

また、以後の議事進行も併せてお願いいたします。

○小笠原敏記専門委員長 昨年度に引き続き専門委員長を務めさせていただくこととなりました。皆様、忌憚のないご意見をどうぞよろしくお願いいたします。

(2) 令和4年度公共事業評価専門委員会の開催予定について

○小笠原敏記専門委員長 続きまして、議事の(2)、令和4年度の公共事業評価専門委員会の開催予定について事務局から説明をお願いします。

〔資料No.1に基づき説明〕

○小笠原専門委員長 ただいまの説明に関し質問があれば、お願いします。

基本的には、例年どおりと考えてよろしいのでしょうか。

○佐々木政策企画課主事 はい、そうでございますが、今年度同様新型コロナウイルスの感染状況によっては、こういったウェブでの開催ということも見込まれる状況となっております。

○小笠原敏記専門委員長 そうですね。第3回の現地視察、それだけがちょっと不安なのですけれども。分かりました。

何か委員の皆様からスケジュール等についてありますでしょうか。

「なし」の声

○小笠原敏記専門委員長 大丈夫ですね。

(3) 公共事業評価実施要領及び評価基準の一部改正について

○小笠原敏記専門委員長 そうしたら、次の議事の(3)、公共事業評価実施要領及び評価基準の一部改正について事務局の方から説明をよろしく願いいたします。

〔資料No. 2に基づき説明〕

○小笠原敏記専門委員長 ただいまの説明に関して質問があれば、よろしく願いいたします。

お願いします。

○清水真弘委員 5ページで奥地保安林保全緊急対策事業、括弧書きで事業費の50%以上に限るとあるのですが、これ50%以下のものは、この評価基準では対象になっていなかったということですか。こういう限定的な評価の対象になる、ならないケースというのがあるということですか。

○佐々木政策企画課主事 そうですね。基本的にこの奥地保安林保全緊急対策事業というのが水源の上流部分を整備する事業でございまして、そちらを整備する際に溪間工であったりとか、山腹工がされるのですが、その際の事業費が総事業費のうちの50%以上のものに限って評価をしておりました。

○清水真弘委員 ほかの事業と違ってこの評価の対象を絞っているというのは、何か理由というのはあるのですか、ちょっと特殊な内容なのかもしれないですけども。

○佐々木政策企画課主事 そうですね。ほかの事業では、このように事業費によって条件で限ったケースというのは、ほかの事業にはないものでした。

○伊藤幸男委員 すみません、ちょっとよろしいですか。多分ですけども、これ国の補助が多分2分の1入るのではないかなと思うのです。それで、その2分の1を超えて県が事業費を負担する場合に県が評価すべき事業と判断するという、その理解かなと思うのですけれども。治山事業は国の補助入るはずなので。

○清水真弘委員 そうなのですね。ありがとうございます。

○小笠原敏記専門委員長 ありがとうございます。

お願いします。

○石川奈緒委員 7ページなのですが、奥地保安林保全緊急対策事業がここから削除されて、その次の8ページの流域保全総合治山事業の方に入るというお話なのですが、その評価の項目が大分違うと思うのですよね、改正前と改正後で。このことというのは、特に問題がないものなのでしょうかというところをちょっとお伺いしたいのです。

れども。

○佐々木政策企画課主事 主に緊急性の配点 40 点分の指標が異なっていますが、今回再編される流域保全総合治山事業が近年の災害の激甚化等を背景に、より流域全体で治水対策を施すという考え方に基づいて再編が行われまして、以前よりも事業区域を広く捉えた形で事業が実施されるようになります。

その考え方に基づき評価基準についても検討した結果、資料 7 ページの緊急性のように、山腹の状況や斜面の傾斜といった指標よりも、資料 8 ページの溪流の荒廃度であったりとか、事業区域内の要整備森林の比率といった事業の対象地域全体を捉えた指標の方が適切であると判断したため、こちらの指標で評価をしていく背景となっております。

○石川奈緒委員 分かりました。ありがとうございます。

○小笠原敏記専門委員長 そのほかございますでしょうか。
お願いします。

○谷本真佑委員 資料の 3 ページのところで、事業を削除するという文言がありまして、その理由として県営事業として実施していないことからという理由で削除している事業があるかと思うのですが、これらの事業は今現在県営事業として実施されていないかと思うのですが、これは今後も事業の実施の見込みがないという理解でよろしいのでしょうか。

○佐々木政策企画課主事 はい、そのとおりでございます。現在は県が直接整備するのではなく、県が市町村を通して事業指定法人、県が指定した法人に対して市町村を通して補助金を交付いたしまして、その補助金を使った支援の一つのうちにこの事業と同じ内容の支援が行われております。

○谷本真佑委員 分かりました。ありがとうございます。

○小笠原敏記専門委員長 ありがとうございます。
そのほかございますでしょうか。

「なし」の声

○小笠原敏記専門委員長 よろしいですか。

「はい」の声

(4) その他

○小笠原敏記専門委員長 そうしたら、次の議事に移りたいと思います。

議事（４）、その他についてですけれども、事務局から何かありますでしょうか。

○池田政策企画課特命課長　ございません。

○佐々木政策企画課主事　ございません。

○小笠原敏記専門委員長　そのほか専門委員の皆様から何かございますでしょうか。

「なし」の声

○小笠原敏記専門委員長　ないようですので、進行を事務局の方にお返しいたします。

3 閉 会

○池田政策企画課特命課長　御審議ありがとうございました。

来年度の専門委員会の開催日程につきましては、今後委員の皆様のお予定を確認させていただいた上で、年度内に調整させていただきたいと考えております。御多忙の中申し訳ございませんが、予定の確認依頼があった場合には、御協力のほどよろしく願いいたします。

それでは、以上をもちまして本日の専門委員会を終了いたします。本日はお忙しい中御出席いただき、誠にありがとうございました。